

(学年) 4 学年、(教科・科目) 地理歴史・地理A

一斉学習

(単元) 災害に備える

(本時のねらい)

身近な地域のハザードマップ等の諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりできるようにする。

身近な地域(学校所在地及び生徒の居住地)で発生しやすい災害とそれによる被害を予測したり、各自ハザードマップを読み取ることにより、自然災害の危険性を予測し、その被害を軽減できるような対応を考察することができるようにする。

(ICT 活用方法)

- 1 一人一台端末で、授業支援クラウドアプリを活用して、授業プリントを配付し、ワークシートや振り返りシートに入力させ、提出させる。従来の紙プリントでは記述が苦手な生徒や欠席した生徒に学習の遅れがみられたが、一人一台端末への入力や、前回のプリントが保存されていることにより、各自で遅れを取り戻しやすい。
- 2 市のホームページで公開されているハザードマップを資料として収集するが、各自一人一台端末を操作して収集し、その資料の上に一人一台端末上で書き込むことで、考えをまとめることができる。
- 3 ワークシートに入りきらない教材は、電子黒板で示すことにより、学習内容がより深まる。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	I C T活用方法
導入 10分	・既習の内容を振り返りながら、本時の課題を把握する。	・各自の一人一台端末より授業支援クラウドアプリを立ち上げて授業プリントを開き復習させる。	・各自の一人一台端末に配付された授業プリントを開き、各自で入力しながらまとめる。
展開 25分	・災害時の避難行動についてまとめる。 ・学校所在地及び各自居住地のハザードマップから避難できる避難所を探す。	・各自の一人一台端末を活用して市のHPから地震・津波防災マップを探して、まとめさせる。 ・収集したハザードマップ上に避難経路を書き込ませる。	・各自の一人一台端末を活用して市のHPからハザードマップを資料として収集し、その上にまとめたことを記入していく。

まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のまとめをすすめる。</li> <li>・災害時の被害軽減のためには、事前準備が大切であることを確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の振り返りをさせる。</li> <li>・授業支援クラウドアプリで配付した振り返りシートに各自入力させ、提出させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子黒板に振り返りシートを表示し、本時のまとめのヒントを共有する。</li> </ul>
-----------	--	---	--

(授業の様子)



電子黒板への作業



作業結果を電子黒板に書込



使用したワークシート

(生徒の反応と課題、改善を要する点)

- ・生徒は、授業支援クラウドアプリを活用した授業に慣れてきて、スムーズにワークシートや振り返りシートへの入力等の作業をこなすことができるようになった。
- ・分からない事柄が出てきた時が学習する時であり、その時に一人一台端末で調べることは、本校の生徒にとっては最大の学習効果を上げていると思われる。